



「Village出展」に関する 事前のお知らせ

運営部 事業企画課

本資料は2024年1月時点での案であり、変更となる可能性があります。
詳細については、2024年3月中旬に予定している公募要領の公表時にお知らせします。

本資料についての問い合わせ先

運営部 事業企画課

jigyo@expo2027yokohama.or.jp

目次

Table of Contents

1. Villageについて	…P4
2. Village出展の概要	…P10
3. 出展条件	…P11
4. 出展区画の仕様	…P13
5. 敷地渡し型の作業及び経費負担の役割分担	…P15
6. GX House設計施工代行サービス	…P16
7. 出展者への特典	…P23
8. 今後のスケジュール	…P24
9. 会場整備・運営に係る特記事項	…P25

1. Villageについて

1-1. Villageとは

Villageは、様々な展示・体験プログラム等を複合させた共創事業です。5つのVillageにおいて、主催者と参加者がVillageのコンセプトを共有しながら、「幸せを創る明日の風景」の創出に取り組みます。



Urban GX Village

Village

主催者と参加者がVillageのコンセプトを共有しながら「幸せを創る明日の風景」の創出に取り組みます。



Farm & Food Village



Kids Village



Craft Village



SATOYAMA Village

1. Villageについて

1-2. Villageコンセプト(Urban GX Village)

Urban GX Village



GXが実現する未来都市の風景を提案します。カーボンニュートラルを中心に、自然の力を社会課題解決に活かす技術(NbS)を世界に発信します。

1. Villageについて

1-3. Villageコンセプト(Farm & Food Village)

Farm & Food Village



食と農が連携し、共存する「さと」の風景を提案します。心身が満たされ、健康であること。その豊かさを実感できるコンテンツを集積します。

1. Villageについて

1-4. Villageコンセプト(Craft Village)

Craft Village



土地に寄り添いながら多様な生業を生み出してきた日本の叡智を継承。自然と共存しつつ、新たな産業を生み出す未来の田園風景を提案します。

1. Villageについて

1-5. Villageコンセプト(Kids Village)

Kids Village



次代を担う子どもたちが自然と親しみ、楽しみながら学ぶことができるコンテンツを集積し、誰もが笑顔になれる風景を提案します。

1. Villageについて

1-6. Villageコンセプト(SATOYAMA Village)

SATOYAMA Village



市民の森と美しい花を背景に、生物多様性や都市と農村の連携をテーマにした学びのプログラムを提供する、新たな里山の風景を提案します。

2. Village出展の概要

会場内に設定される各Villageのコンセプトに沿って、出展区画において屋外空間(庭園、広場等)と展示施設を整備いただき、独自の展示や体験コンテンツ等を実施いただける出展方法です。

(例)

- 花や緑の魅力を学ぶ環境教育コンテンツ
- リアルとデジタルが融合した新しい展示・体験
- 花・緑・農・食に関する日本の伝統的な文化の体験



3. 出展条件

3-1. 出展参加者

Villageコンセプトに賛同いただく企業・団体(企業共同体による参加も可)

※協会が指定する参加条件(2024年3月頃公表予定)を満たす方

3-2. 出展期間

全期間出展(192日)

3-3. 出展費用

- 敷地にかかる出展料(20,000円/m²)
- 出展にかかる諸経費は出展者負担(詳細は5. 及び6-5. を参照)

3-4. 実施可能な活動

企業プロモーション及び、展示施設内の一部(延床面積の20%以内)を使用して飲食・物販営業を行うことができます。

※飲食・物販営業にあたっては、売上納付金(売上歩合等)を納めていただく予定です。

なお歩率については検討中です。

3-5. 出展タイプ

- ① 敷地渡し型
出展者が敷地に自ら展示施設を建設するとともに、屋外空間(庭園、広場等)を整備するもの

- ② GX House設計施工代行サービス(建物渡し型)
協会が展示施設の設計・建築等を代行※し、出展者は内装や展示物、屋外空間(庭園、広場等)を整備するもの(詳細は6. を参照)

※協会と別途契約の上、費用が発生します。

4. 出展区画の仕様

4-1. 出展区画の面積

約1,000㎡～3,000㎡

※応募状況等により1区画の面積を調整する可能性があります。

4-2. 区画形状

区画の形状は、規模や場所によって個別に設定します。

4-3. 建ぺい率

50%以内

4-4. 区画数

応募状況(出展希望者数、出展希望面積)に応じて調整します。

4-5. 協会が提供する設備

出展区画境界までの各種インフラ(電力、給水、排水、通信)の整備は協会では実施予定です。

※電気、水道等の利用可能量については、別途協会からお知らせします。

※ガス及び通信サービス等については、必要に応じて別途契約いただく予定です。

※各種インフラ利用に係る費用(光熱水費、通信費など)は出展者の負担となります。

4-6. 出展エリア

各Villageに設けられた区画の敷地のいずれかをご希望いただいた後、出展内容及び会場との調和等を総合的に勘案のうえ、協会において決定します。



5. 敷地渡し型の作業及び経費負担の役割分担

敷地渡し型での出展区画の設計から撤去までの作業及び経費負担の基本的な役割分担は、下表のとおりとなります(予定)。

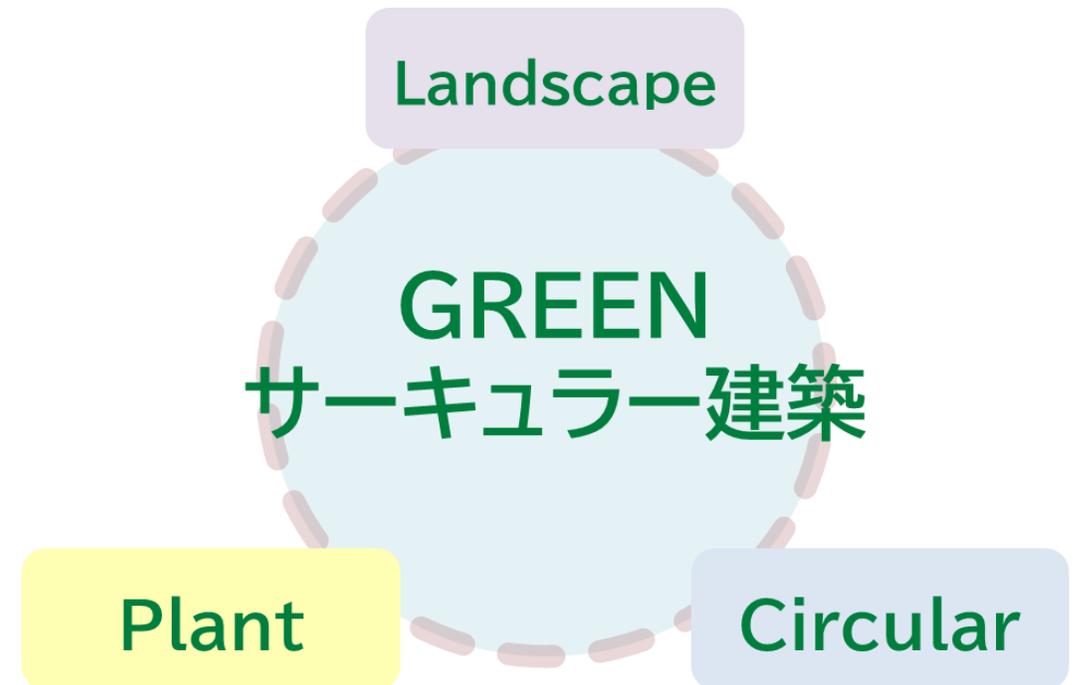
項目		作業実施者		経費負担者	
		出展者	協会	出展者	協会
設計	展示施設、屋外空間(庭園、広場等)の企画・設計	○		○	
工事	出展区画の基盤整備		○		○
	出展区画境界までのインフラ(電気、給水、排水、通信)の整備		○		○
	展示施設の整備工事(建築、内外装、空調)	○		○	
	展示物の設置	○		○	
	屋外空間(庭園、広場等)の整備工事	○		○	
維持管理	出展区画内の全ての施設・設備の管理運営	○		○	
撤去	展示施設、屋外空間(庭園、広場等)の解体撤去、原状復旧	○		○	

※GX House設計施工代行サービス(建物渡し型)の作業及び経費負担の役割分担については、6-5. を参照

6-1. GREEN×EXPO 2027が目指す「GREEN サーキュラー建築」という考え方

今回のGREEN×EXPO 2027では、

- 日本の植物資源と文化を活かすとともに、博覧会後の花と緑にあふれたグリーン社会を見据えた魅力的な会場を提供します。
- 会場内の仮設建築は、循環型(リユース、リサイクル)とし、環境負荷の低減、資材の有効活用が図られた「GREEN サーキュラー建築」とします。
- 建材には、国産木材の積極的な活用を図ります。



6. GX House設計施工代行サービス

6-2. GX House設計施工代行サービスの概要

GREENサーキュラー建築を園芸博に実装するものとして、協会では「GX House(※)設計施工代行サービス」をご用意します。本サービスは、協会が出展者に代わり設計施工を行うもので、規格化されたリユース部材の活用により、環境負荷を低減すると同時に、コストの低減・工期短縮・事業リスク低減を図るものです。(詳細は、後日お知らせします。)

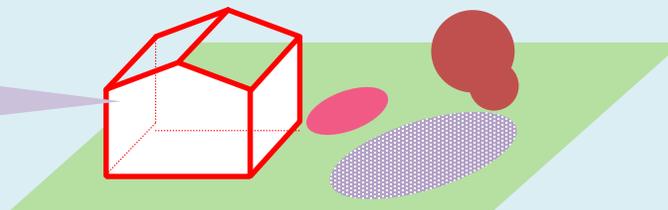
※GX Houseとは本サービスにより提供されるGREENサーキュラー建築の条件を満たした展示・営業施設を指します。

出展施設

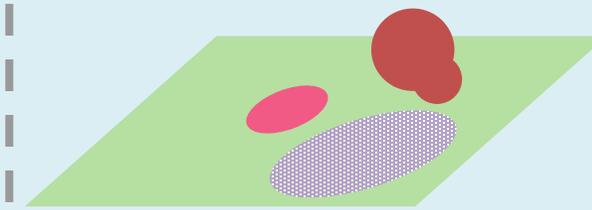
GX House設計施工代行サービス(建物渡し型)

協会が出展施設の設計施工を代行するサービス(有償)
(出展者は、内部展示及び庭園等を整備)

建物内外装の
カスタマイズが可能



敷地渡し型
(出展者が建物及び
庭園等を整備)



6. GX House設計施工代行サービス

6-2. GX House設計施工代行サービスの概要



GX House設計施工代行サービスにより整備される展示・営業施設(イメージ)

6. GX House設計施工代行サービス

6-2. GX House設計施工代行サービスの概要

環境配慮

国産木材を積極的に活用するなどして、環境負荷を低減するとともに、園芸博終了後のリユース、リサイクルを促進することを目指します。

スケジュールコントロール

協会が出展者に代わってスケジュールコントロールを実施します。

GX House 設計施工

代行サービス

設計・整備サービス

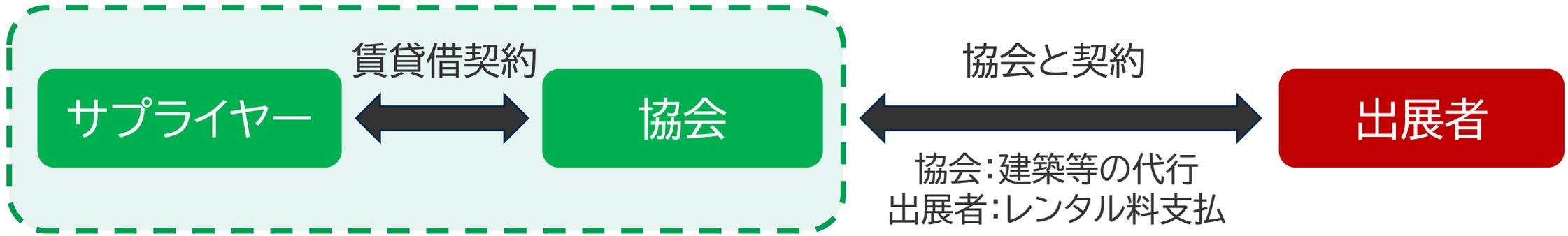
建築工事等に係る設計・施工・管理を出展者に代わって協会が実施します。

出展者には、基本プランと費用をお示しますので、建設コストの見通しが立てやすいサービスとなります。

コストコントロール

6. GX House設計施工代行サービス

6-3. サービス利用時の契約等について



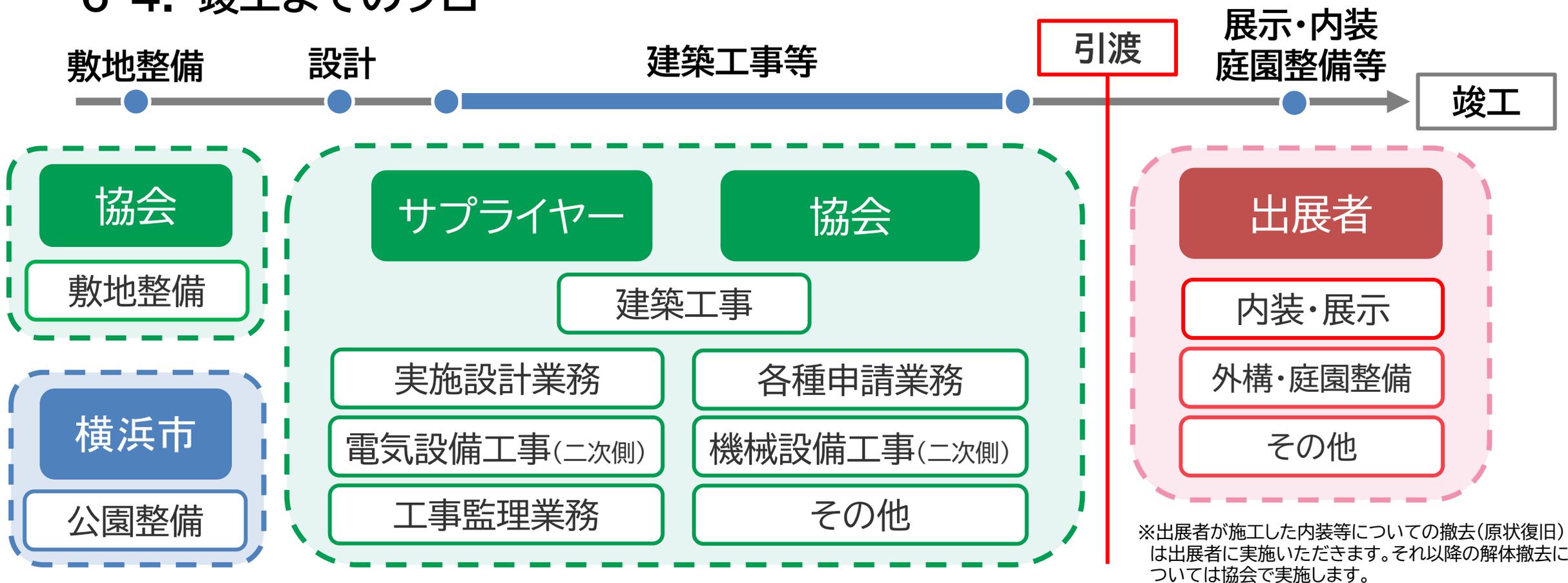
- 出展者は、協会との間で契約を締結いただきます。
- 出展者には、レンタル料(設計費・資材費・建設費・解体撤去費含む)のご負担と、展示に関連する工事等を実施いただきます。

※レンタル料の支払時期については、今後お知らせします。

※出展者が施工した内装等についての撤去(原状復旧)は、出展者に実施いただきます。

6. GX House設計施工代行サービス

6-4. 竣工までのフロー



- 協会は建築工事等に係る設計・施工・管理を出展者に代わって実施します。これにより、出展者のスケジュールコントロールが容易になります。
- 出展者には、展示・内装・空調工事と外構・庭園整備を実施いただきます。

※作業及び経費負担の役割分担の詳細は次ページ

6. GX House設計施工代行サービス

6-5. 作業及び経費負担の役割分担

GX House設計施工代行サービス(建物渡し型)での出展区画の設計から撤去までの作業及び経費負担の基本的な役割分担は、下表のとおりとなります(予定)。

項目	項目	作業実施者		経費負担者	
		出展者	協会	出展者	協会
設計	展示施設(GX House)の実実施設計及び許認可手続き		○	○	
	展示施設(GX House)の内装・空調・展示物、屋外空間(庭園、広場等)の企画・設計	○		○	
工事	出展区画の基盤整備		○		○
	出展区画境界までのインフラ(電気、給水、排水、通信)の工事		○		○
	展示施設(GX House)の建築・外装工事		○	○	
	外装のカスタマイズ	○(任意)		○(任意)	
	展示施設(GX House)の内装・空調工事	○		○	
	展示物の設置	○		○	
	屋外空間(庭園、広場等)の整備工事	○		○	
維持管理	出展区画内の全ての施設・設備の管理運営	○		○	
撤去	展示施設(GX House)の建築・外装の解体撤去、原状復旧		○	○	
	展示施設(GX House)の内装・空調・展示物、屋外空間(庭園、広場等)の撤去、原状復旧	○		○	

 GX House設計施工代行サービスに含まれる項目です。

7. 出展者への特典

参加形態・規模に応じて、
以下に掲げる特典の一部または全部の提供を予定しています。

◆ 呼称権

GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会)との関わりを示す呼称を表示する権利
(ただし、商品への使用は除く)

(例)GREEN×EXPO 2027 ○○パートナー

◆ 会場内名称表示権

社名等を当該出展場所内の媒体・アイテム等へ表示する権利

◆ 公式ロゴマーク使用权

公式ロゴマークを使用する権利(ただし、商品への使用は除く)

◆ 式典等への招待

主催者が開催する式典等への招待

※ 利用範囲や利用方法については、今後提示する予定です。

※ 2024年1月時点のものであり、今後追加・変更することがあります。

8. 今後のスケジュール



※各スケジュールは変更の可能性があります。

9. 会場整備・運営に係る特記事項



- 会場内での来場者の移動については、現在、場内モビリティの導入に向けた検討を進めています。
 - 会場の開園時間は、会場・時期の一部において、夜間も開園することを検討しています。
 - 出展にあたっては、サステナビリティ戦略(今後公表予定)等を尊重するとともに、参加ガイドライン(今後公表予定)、持続可能性に配慮した調達コード(※)等の遵守にご協力をお願いします。
※協会HP サステナビリティに関する取組み <https://expo2027yokohama.or.jp/news/news_20240118/> をご参照ください。
 - 出展の内容は、公序良俗に反しないもの、反社会的勢力との関係を有していないもの、安全性に配慮したものに限りします。
 - 敷地渡し後も、建築確認申請等の手続きが発生する可能性があります。
 - 会場内におけるPR・催事や一般的な物販については、別途、「催事参加」「営業参加」の参加メニューを検討しており、今後、改めてご案内をする予定です。
- 上記の詳細については、後日改めてお知らせします。